

平成 28 年度

社会福祉法人富山市社会福祉協議会事業計画書

我が国では人口減少と高齢化が急速に進んでいます。2025（平成37）年には、団塊の世代が75歳以上となり、およそ5人に1人が75歳以上の高齢者という人口構成となります。また、65歳以上のひとり暮らし世帯や、夫婦のみの高齢者世帯が全世帯の4分の1を超えると見込まれています。このような中で、介護が必要な状態になっても高齢者が住み慣れた地域で生活続けることができるよう、医療、介護、生活支援など日常生活を支えるサービス基盤を確保するとともに、多様な主体による地域の支え合いの取組みを促進することが求められています。

平成27年度から実施している第2次地域福祉活動計画「ささえあいプランとやま」では、「みんなでささえあう 安心して生きがいを持って暮らせるまちづくり」の実現を基本理念に、「福祉活動を支える人づくりの推進」、「住民参加による地域づくりの推進」、「安心して暮らせるまちづくりの推進」を基本目標に掲げており、富山市社会福祉協議会としては、計画の実現に向けて様々な事業に地域住民のみなさんや行政と連携を図りながら取り組んでいるところであります。とりわけ、喫緊の課題である新しい介護予防・日常生活支援総合事業では、地域包括ケアを推進するための生活支援コーディネーターを配置し、ボランティア、NPO、民間企業、協同組合等の多様な主体が連携して生活支援・介護予防サービスを提供できるよう、関係者のネットワークづくりを行うとともに、地域に不足するサービスの開発や担い手の養成に取り組んでまいります。また、判断能力の低下した認知症高齢者などを支え、市民参画による権利擁護を推進していくための市民後見人の養成、生活の困りごとや不安・困窮の相談者に専門員が寄り添いながら支援する生活困窮者の自立支援相談窓口の設置・運営、さらには地域の様々な社会資源が協働し、見守りや買物支援など、住民誰もが安心して日常生活を営むことができる地域づくりを行うふれあいケアネット融合型事業などにも引き続き重点をおき、基本理念の達成や地域福祉の推進を果たしてまいります。

平成28年3月

社会福祉法人富山市社会福祉協議会
会 長 野 尻 昭 一